

## 新技術概要説明資料（1 / 5）

		登録No.	1224		
名称	残存化粧型枠 パットウォール『Dウォール』	收受受付年月日	平成17年度6月1日		
		変更受付年月日	平成30年2月1日		
副題	繊維補強モルタル製 残存化粧型枠	開発年	平成14年4月1日		
区分	■1. 工法 □2. 機械 □3. 材料 □4. 製品 □5. その他 番号：	1			
分類	1-1-6. 共通工/コンクリート工				
キーワード	■1. 安全・安心	■5. 公共工事の品質確保・向上	1	6	
	■2. 環境	■6. 景観	2		
	□3. 情報化	□7. 伝統・歴史・文化	4		
	■4. コスト縮減・生産性の向上 □8. リサイクル 番号：		5		
国土交通省への登録状況	申請地方整備局名	登録年月日	登録番号	評価（事前・事後）	
	関東地方整備局	平成14年10月2日	KT-020016-VE	有用な技術	
開発目標（選択）	■1. 省人化	□5. 耐久性向上	■9. 地球環境への影響抑制	1	7
	■2. 省力化	■6. 安全性向上	□10. 省資源・省エネルギー	2	8
	■3. 経済性向上	■7. 作業環境の向上	□11. 品質の向上	3	9
	□4. 施工精度向上	■8. 周辺環境への影響抑制 □12. リサイクル性向上 番号：		6	
活用の効果	従来技術名：	化粧型枠			
	1. 経済性	■1. 向上（％） □2. 同程度 □3. 低下（％）	番号：	1	
	2. 工程	■1. 短縮（％） □2. 同程度 □3. 増加（％）	番号：	1	
	3. 品質・出来型	■1. 向上 □2. 同程度 □3. 低下	番号：	1	
	4. 安全性	■1. 向上 □2. 同程度 □3. 低下	番号：	1	
	5. 施工性	■1. 向上 □2. 同程度 □3. 低下	番号：	1	
	6. 環境	■1. 向上 □2. 同程度 □3. 低下	番号：	1	
	7. その他	□1. （定義済みの値なし）	番号：		
開発体制	□1. 単独 ■2(1) 共同研究(民民) □2(2) 共同研究(民官) □2(3) 共同研究(民学) 番号：			2 (1)	
開発会社	日本板硝子環境アメニティ(株)	販売会社	(株)ビュープランニング	協会名	
問合せ先	技術	会社名：	住理工商事(株)		
		住所：	名古屋市中区丸の内三丁目17番13号6階		
		TEL：	052-951-5890		
	担当部署：	技術課			
	FAX：	052-951-5892			
	担当者名：	森 健次			
mail：	kenji.mori@jp.sumiriko.com				
営業	会社名：	住理工商事(株)			
	住所：	名古屋市中区丸の内三丁目17番13号6階			
	TEL：	052-951-5896			
	FAX：	052-951-5897			
担当部署：	景観営業課				
担当者名：	角谷 幸広				
mail：	yukihito.sumiya@jp.sumiriko.com				
(概要)	<p>従来の化粧型枠工法の省力化、現場廃材の排出を抑制する為の残存型枠工法技術です。 効果) ①既存の残存型枠と比較して「軽量」で組み立てに揚重機を必要としません。狭小地での人力作業を可能にしました。（石積み模様：17.5kg/枚、フラットパネル：17.0kg/枚） ②繊維補強モルタル製です。内部に補強鋼材を使用していないので現地でのカット加工もスピーディーに出来、金切騒音を出しません。 ③耐久性に優れた高強度パネルでコンクリート打設高1.5m（設計荷重36KN/m<sup>2</sup>）の2倍以上の強度性能を持っています。</p> <p>用途) 砂防堰堤、急傾斜工事、既設土木構造物の被覆修景工事</p>				

## 新技術概要説明資料（2 / 5）

新技術名称

残存化粧型枠

パットウォール『Dウォール』

登録No.

1224

## （特 徴）

（長 所）①揚重機が不要なく人力作業が可能。施工ブロック割りによってはコンクリート打設日にも並行して型枠組立作業ができ、より一層の工程の短縮が望めます②繊維補強パネルの加工が簡単③高強度の為標準施工でコンクリート打設リフト1.5m打設が可能。

（短 所）①鋼製補強材が内在していない為、高所から落とすと割れる恐れがある。②モルタルパネルの特性上、雨水等による膨張・乾燥の影響を避ける為ブルーシート等で養生管理する必要がある。（使用前のみ）

## （施工方法）

1. 基礎コンクリート打設時に予めアンカー筋を500mmピッチにて挿し筋しておきます。
2. 硬化後にレイタンス除去、計画墨出し、丁張りして法角度調整を行います。
3. 『Dウォール』の場合は製品2枚を予め専用プレート金物とM10ボルトで連結してW1000mmの基準定規を作ります。
4. 同パネルをサポート材（鉄筋、ジャッキ等）で支持し角度調整、位置決めを行います。
5. 位置決定後、アンカー筋とパネル側センターボルトを鉄筋（D13～D16）で溶接固定。
6. 以降、専用金物を使って水平及び垂直方向へ連結、溶接固定を繰り返します。
7. 最下段が固定されたら2段目以降はパネルを乗せてラチェット等で締めていくだけで簡単に組み立てられます。
8. 作業スペースにもよりますが3段組立⇒コンクリート打設⇒挿し筋⇒3段組立・が理想的工程です。

## （施工単価等）

1(1). 歩掛りあり（標準） 1(2). 歩掛りあり（暫定） 2. 歩掛りなし

1

掲載刊行物

建設物価（有・無） 掲載品目（**型枠**）

積算資料（有・無） 掲載品目（**型枠材**）

その他（カタログなど）

（ ）

直接工事費：①「Dウォール石積み」材工価格12,698円/m<sup>2</sup>、②「Dウォールフラット」材工価格9,250円/m<sup>2</sup>

◎取引数量：180m<sup>2</sup>以上より上記製品価格適応（180m<sup>2</sup>未満については別途小口運賃を計上願います。）

◎荷渡し場所：現地直送（車上お渡し）

積算資料等

製品価格表

施工管理基準資料等

品質証明書（寸法・強度試験実績値）・施工要領書

新技術概要説明資料 (3 / 5)

新技術名称	残存化粧型枠	パットウォール『Dウォール』	登録No.	1224
-------	--------	----------------	-------	------

(適用条件)

(適用できる条件) 【現場条件】 構造物においては内部作業スペース (約600mm) が確保できれば施工可能。組み立てに重機は必要としない。但し荷置きスペースは必要。【自然条件】 特に問わない。【適用範囲】 砂防工・急傾斜工・重力擁壁工等。

(適用できない条件) 鉄筋構造物 (一部例外を除く)。無筋構造物でも、1.5m以上のリフト高での打設が必要となる場合。

(設計上の留意点)

作業効率を上げるために、砂防等の設計時には均しコンクリートを設計に含むことが好ましい。(最下段の設置にあたり)

(施工上・使用上の留意点)

製品管理上、重ね積みをしない。モルタルパネルの為使用前は雨水等による不要な乾燥膨張を避ける為、ブルーシート等で製品養生に留意したい。

(残された課題と今後の開発計画)

- ・ Dウォール/意匠バリエーションの多様化。サイズ拡大化。
- ・ 専用金物/溶接レスの組立金物の開発。

(実験等作業状況)

パネル) パネル曲げ試験、耐梁曲げ試験、耐衝撃試験、耐凍結融解試験。金物) 防錆試験、接続金物の引張強度試験等実施。結果については建設技術審査証明報告書を参照願います。

(添付資料)

実験資料等

品質証明書 (公的試験機関における性能確認試験及び試験結果)  
(財) 土木研究センター「建設技術審査証明報告書」第0530号

その他

--

特 許	<input type="checkbox"/> 1. 有り (番号: ) <input type="checkbox"/> 2. 出願中 <input type="checkbox"/> 3. 出願予定 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 無し	番号	
		特許番号	
実用新案	<input type="checkbox"/> 1. 有り (番号: ) <input type="checkbox"/> 2. 出願中 <input type="checkbox"/> 3. 出願予定 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 無し	番号	
		新案番号	
評価・証明	建設技術評価制度番号	民間開発建設技術の審査証明番号	
		建技審証第530号	
	証明年月日	証明年月日	
		2006年2月 (2016年2月内容更新)	
	制度等の名称	証明機関	
		財団法人 土木研究センター	
その他の制度等による証明	制度等の名称	制度等の名称	
		建設技術審査証明報告書	
	制度名、番号	制度名、番号	
	証明年月日	証明年月日	
	証明機関	証明機関	
	証明範囲	証明範囲	

## 新技術概要説明資料（4 / 5）

新技術名称		残存化粧型枠 パットウォール『Dウォール』		登録No.	1224
実績件数		公共機関:	656	民間:	25
発注者	施工時期	工事名		CORINS登録No.	
静岡県静岡土木事務所	平成15年9月	二級河川巴川河川災害復旧工事			
静岡県天竜土木事務所	平成18年9月	阿多古川支川藤瀬川通常砂防工事			
静岡県静岡土木事務所	平成18年9月	興津川支川曾毛沢通常砂防工事			
静岡県島田土木事務所	平成20年5月	二級河川石脇川広域基幹河川改修			
静岡県静岡土木事務所	平成21年1月	天白沢左支川通常砂防工事			
静岡県島田土木事務所	平成24年6月	滝沢県単砂防			
静岡県下田土木事務所	平成25年5月	吉佐美多々戸 急傾斜地崩壊対策工事			
焼津市河川課	平成25年2月	泓の川河川改修工事			
静岡市道路整備課	平成25年5月	三ツ峰落合線（上平瀬）道路改良			
(株)フジコー（民間）	平成24年9月	三島大吊橋防災施設工			

施工実績

## 新技術概要説明資料 (5 / 5)

新技術名称	残存化粧型枠 パットウォール『Dウォール』	登録No. 1224
 <p data-bbox="400 815 523 853">①墨だし</p>	 <p data-bbox="1034 815 1289 853">②基本パネル作成</p>	
 <p data-bbox="352 1435 576 1473">③最下段仮組み</p>	 <p data-bbox="986 1435 1342 1473">④最下段溶接、2段目組立</p>	
 <p data-bbox="320 2063 608 2101">⑤6段目まで組立完了</p>	 <p data-bbox="1114 2063 1209 2101">⑥完工</p>	